【ジェフユナイテッド千葉】2024Jリーグ新人研修 シャレン！活動レポート
久保庭 良太、谷田 壮志朗

2024年6月16日（日）、21日（金）、千葉市・フードバンクちばで、久保庭 良太 選手、谷田 壮志朗 選手が、地域社会の問題解決のシャレン！活動を行いました。

■地域・社会課題： 食品ロスと食料難の解決

■協働者： フードバンクちば/サポーター

■活動概要や内容、目的
ジェフユナイテッド千葉では、クラブ理念である「ジェフユナイテッドアンセム」の実現の一環として、2021年からこの食品ロスと食料困窮の課題に取り組んでいます。6月16日の明治安田J2リーグ徳島ヴォルティス戦では、ファン・サポーターの皆さまに協力いただいて各家庭で余剰となっている食品等を収集し、参加人数57名（寄付金のみ含む）、総重量49.6キロの食品を集めることができました。 16日に集まった食品をまた6月21日にフードバンクちばにて、消費期限、カテゴリー別に仕分ける作業の手伝いを行い、また千葉県の食糧事情や廃棄食品についての話を伺うことをとおして、社会の課題について学び、またどのように貧困家庭や団体に食品が届くかを学びました。

◎選手のコメント
久保庭 良太 選手
フードバンクの仕事を通して、食料余剰による廃棄と生活に困る人たちを繋ぐ役割をフードバンクが担っていることを改めて理解することができました。サッカー選手という発信力がある立場としてこの活動をもっと広めていかなくてはならないと感じました。

谷田 壮志朗 選手
今回フードバンクの活動をしてみて、こんなに食品ロスがあるのかと驚きました。その一方で現在の日本でも食料に困る人々が大勢いることにも驚きが隠せませんでした。 自分ができることは限られていますが、少しでも食品ロスを無くせるように努力したいと思います。

写真提供／ジェフユナイテッド千葉

フードバンクちば